

●1年次 履修例

春学期

曜日	月	火	水	木	金	土	集中
1講時						看護管理学 特論 (4~7月)	看護管理学 特別演習 (8~9月)
2講時							
3講時				看護理論 (4~5月)		看護管理学 特講Ⅰ (4~7月) 看護管理学 特講Ⅱ (4~7月)	
4講時							
5講時				看護研究 方法論 (4~5月)			
6講時				看護継続 教育学 (6~7月)			

秋学期

曜日	月	火	水	木	金	土	集中
1講時						看護と経済 または 看護管理学 演習 (9~1月)	
2講時							
3講時						看護政策論 または 看護管理学 特講Ⅲ (10~1月)	看護と法律 (12月)
4講時							
5講時						看護管理学 特講Ⅲ (10~1月)	看護管理 特別演習 (8月)
6講時				看護と環境 (10月)			

## ● 在学生からのメッセージ

関東学院大学大学院看護学研究科修士課程に入学し2年が経過しようとしています。看護管理学領域の3名は、長期履修制度を受け働きながら3年で全過程を修了するカリキュラムを選択しています。現在の経過としては、M1の12月から1月にかけて、修士論文の研究テーマを指導教諭と学生でディスカッションを行いながらテーマの絞り込みを行いました。M2に入ってから、研究計画発表会、倫理審査の提出、各病院に研究調査の依頼、回収を行っています。

修士論文の研究テーマを絞り込むには、かなりの時間を要しました。先生方や学生と何回かディスカッションを行い、自分自身が本当に行いたい修士論文研究内容を深め、決定しました。量的研究であるため、調査協力が得られるかどうか心配でした。先生方のご尽力の基、調査協力病院で、修士論文研究計画書の説明発表をさせていただく機会を得て、多数の調査協力をいただくことができました。現在は、調査結果の集計、集計結果の一時報告をまとめ、調査協力病院にフィードバックを行う準備をしています。

看護管理学専攻の3名は、現場での看護管理の実践と大学院生としての学生の学びと二足のわらじを履いて日々取り組んでおります。学業に集中できないこともありますが、先生方、院生同士に支えられ、アドバイスをいただきながら進むことができました。

院生の勤務状況を考慮していただきながら、先生方にご指導をいただき学生生活を継続することができています。関東学院大学大学院は、社会人学習者に学びやすい環境を提供していただいています。ぜひ、多くの方に学んでいただき、現場で活かしていければと思います。

今井恵子、小島金美、高野寿子